

Newsweek International Magazine誌に 弊社代表取締役社長・島本迪彦の取材記事が掲載されました

2024年3月8日発行のNewsweek International Magazine誌(国際版)に、弊社代表取締役社長・島本迪彦のインタビュー記事が掲載されました。Newsweekは世界中に4600万人の読者を持つビジネス週刊誌です。



掲載号表紙

CONTENT BY THE WORLDFOLIO

Tipo recycling program

"The provision of highly reliable products with sophisticated design and long-lasting durability is our mission."
Michihiko Shimamoto, President, Aichi Co., Ltd.

Aichi: Creating Educational Spaces and Innovating Furniture Design

Under Michihiko Shimamoto's visionary leadership, Aichi transforms spaces with innovative furniture, emphasizing unique designs and a commitment to crafting optimal educational environments.

Since its establishment in 1939, Aichi Co. Ltd. – now under the leadership of company president Michihiko Shimamoto – has been committed to crafting educational and communal spaces. Initially recognized for manufacturing movie theater seats and folding chairs, Aichi has evolved its focus towards educational and public facilities, distinguishing itself in the global market. President Shimamoto emphasizes the company's commitment to broadening its product portfolio: "Aiming for a larger market share in educational and public spaces." Automation in manufacturing, careful selection and concentration of manufacturing processes, and a core competency in stacking chairs highlight Aichi's strategic approach to staying competitive in today's market.

Aichi doesn't merely provide furniture; it offers comprehensive interior planning services, including interior design and IT equipment. President Shimamoto emphasizes the company's purpose: "Creating educational and gathering spaces for human well-being and the environment."

Regarding collaboration, President Shimamoto mentions openness to future partnerships, both domestic and overseas, to create brand-new products. "This approach aligns with Aichi's commitment to innovation and adaptability in a rapidly evolving market. A representative innovation by Aichi is the spiral suspension technology used in our fixed theater seats, offering enhanced comfort and durability. This material addresses the challenges of long-term use, providing a solution to discomfort and squeaking often associated with traditional theater seats," he explains.

With a strong focus on its global presence, Aichi has been participating in the ORGATEC exhibition in Germany since 2010, garnering prestigious awards. Today, the company aims to strengthen its stacking chair series and establish itself as a leading global niche player in the field, with President Shimamoto outlining strategic growth plans: "We are targeting North America, Oceania, and Europe, with an eye on the well-established interior design sector in Europe. In the future, we plan to expand our

Flexible seat of the Gene

Elastic seat of the X50

New educational style

Booth at ORGATEC2022

axona AICHI
www.axona-aichi.com/en

記事掲載ページ

「洗練されたデザインと、長くご利用いただける耐久性を兼ね備えた信頼性の高い製品を提供させていただくことが愛知株式会社のミッションです」

愛知株式会社 代表取締役社長 島本迪彦

「革新的な家具で教育空間を創造する」

先見性を持った島本迪彦社長のリーダーシップの下で、愛知株式会社は高いデザイン性を持った革新的な家具による最適な教育環境づくりに取り組んでいる。

1939年の創業以来、愛知株式会社(島本迪彦代表取締役社長)は『集いと学び空間』の創造に取り組んでいる。以前は映画館向けシートや折り畳み椅子のメーカーとして知られていた愛知株式会社は、現在では教育・公共施設市場向けの家具の開発に経営資源をシフトし、グローバル市場においても存在感を示している。「教育・公共施設市場において提案できる製品群を今後さらに拡充し、高いシェアを獲得することを目指している。また製造設備の自動化を推進し、特に当社のコア・コンピタンスであるスタッキングチェアの競争力をさらに高めていきたい」と島本社長は語る。

また、家具の提案はもちろん、内装・IT機器などを含めた総合的なインテリアプランニングサービスにより、企業としてのバーバスである『人と地球が嬉しい「集いと学び空間」をデザインする』に取り組んでいる。

製品への信頼と、数多くの案件への納入実績を通じて培ってきた信用が愛知株式会社のベースであり、家具とインテリアデザインをトータルでコーディネートし、教育施設にとって最適なソリューションを提案することを目指している。

「洗練されたデザインと、長くご利用いただける耐久性を兼ね備えた信頼性の高い製品を提供させていただくことにより、教育施設や公共施設から信用していただくことが愛知株式会社のミッションです」と島本社長は語る。

愛知株式会社は、多用途かつ多機能な家具を専門としており、22件の国際特許と70件の国内特許を保有している。「当社の製品開発は差別化を重視し、世界におけるどの製品とも異なるユニークな製品の開発に努めており、教育・公共施設の機能性向上に貢献できるよう、自社で製品開発を行っています。現時点では他社との共同開発はありませんが、製品開発分野において、将来的には国内外企業との協業も検討していきたいと考えています。当社は、変化し続ける市場のニーズに対し、革新性と適応性をもって取り組んできました。例えば当社の特許の一つに、劇場用シートの快適性と強度を兼ね備えたスパイラルサスペンションがあります。従来の劇場用シートを長期間使用した際に生じる不快感やきしみ音を抑制する技術です。このような、当社の長い歴史の中で培ってきた技術力やデザイン力を進化させることにより、ドイツで開催されるORGATEC展に2010年以降出展し、権威あるデザイン賞を数多く受賞しています(2024年も出展予定)。現在、スタッキングチェアのシリーズをさらに強化し、この分野でのグローバルニッパップブランドとしての地位を確立することを目指しており、今後の成長市場として北米・オセアニア・ヨーロッパ・北欧・欧州南部・中東・南米・アジア・アフリカなどの地域にも販売を拡大していきたいと考えています」と島本社長は強調する。

15年後に迎える創業100周年を見据え、島本社長は単なる売上の拡大ではなく、企業理念に重きを置き、企業価値を向上していくことを重視している。

「世界市場をターゲットにして成功した企業例を参考にしつつ、製品群をさらに強化し、日本市場においては、教育市場におけるニッパップとして、またグローバル市場においては、スタッキングチェアのグローバルニッパップブランドを目指していきたいと考えています」と島本社長は目標を掲げている。

愛知株式会社の持続的な発展は、世界中の教育・公共施設のスペース向けの製品と独自のサービスを創造し、国内市場においてはマーケットシェアを向上しつつ、グローバルに販路を拓げていくことにある。映画館向けのシートから始まった85年の歴史をベースとしつつ、革新的な製品、総合的なインテリアプランニング、最適な教育空間の創造へと進化を続けている。